

SDGs 達成に向けたアフリカにおけるインパクト投資促進

国際協力機構（JICA）は、8月22日、横浜ベイホテル東急にて、アフリカにおけるインパクト投資促進をテーマに、サイドイベントを開催し、180名（対面・オンライン）を超える参加者が参加しました。

会議の冒頭、JICAはアフリカの持続可能な成長を支援するため、官民の共創によるインパクト投資イニシアチブ「IDEA（Impact Investing for Development of Emerging Africa）」を発表しました。IDEAは、JICAの民間セクター向け投融資スキームである海外投融資が触媒となり、開発金融機関、民間金融機関、ファンドマネージャーなどの多様なパートナーと「共創」し、次回のTICAD10までに官民総額15億ドル規模のアフリカへの投融資の実現を目指すものです。「インパクト投資」を通じアフリカにおける人間の安全保障の実現、そしてSDGsの達成を力強く後押しすることが示されました。

また、セレモニーセッションではIDEAの下での具体的な取り組みとしてアフリカのPE（Private Equity）ファンドであるHelios、VC（Venture Capital）ファンドであるNovastar、インド・アフリカの金融包摂に貢献するAavishkaarに対するJICAによる出資のプレコミットメントが発表され、各ファンドマネージャーによるインパクト投資加速に向けた意気込みが語られました。

さらに、パネルディスカッションでは、GSG Impactからのモデレーターのもと、IDEAの共創パートナーであるアフリカ開発銀行、英国国際投資公社、三井住友銀と共に、アフリカへの民間資金動員にむけた開発金融機関の役割、民間金融機関による資金動員の取り組み、日本の投資家への期待、さらに次のTICAD10に向けての共創について議論が交わされました。

最後に、共催機関であるアフリカ開発銀行より、議論の総括と共にアフリカへの民間投資促進に向けた取り組みの重要性が改めて強調されました。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】 甘枝 幹雄 JICA 理事

【基調講演】 壽楽 正浩 JICA 民間連携事業部海外投融資第二課長

【パネルディスカッション】

モデレーター：

- ・ アティエノ・オトングロ GSG Impact マネージャー

パネリスト：

- ・ 安井 毅裕 JICA 民間連携事業部長

- ・ アイダ・ンディル・ンゴム アフリカ開発銀行民間セクター開発局長
 - ・ チランタン・パトナイク BII ベンチャーキャピタル部門長
 - ・ 加々美 博成 三井住友銀行 Deputy Head of Export Development Solutions Executive Director
- 【閉会挨拶】 ソロモン・クエノー アフリカ開発銀行副総裁（インフラ・産業担当）

■写真





■関連する SDGs ゴール :

